# お客様へ

# 凍結防止についてのご案内

前略 弊社製品につきまして、格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。 さて、寒さも増し凍結が心配される季節が近づいて参りました。 下記事項にご注意の上、処置していただくようお願い申し上げます。 甘々

= 記 =

#### 1. 吸引機、吸引車

#### 1-1. ポンプ(ブロワ・スパイラルポンプ) 凍結のご注意 (NM・NS・NSR車を除く)

- 1) 凍結防止対策
  - ① 一日の作業終了後、必ず各キャッチャー及び、ポンプの水抜きを行った後、ポンプのドレンバルブを 「開」にして空運転を5~10分行ってください。 (エンジン回転 約1000rpm)
  - ② 空運転しても凍結するようであれば、空運転後インペラ給油口より不凍液を適宜吸引させてください。 (不凍液濃度は気温により、2~4倍に適宜薄めてください。)
  - ③ 極寒地区で移動中に水が凍るようであれば、3・4次キャッチャーに不凍液を使用してください。
- 2) 凍結した場合

「スチーム」または「お湯」で完全に氷を溶かした後、ポンプを回してください。(冷却水ラインの凍結にも ご注意ください。)

3)ポンプ始動時のご注意

必ず、アイドリングでゆっくりクラッチをつないでください。<br/>
凍結したままで急激につなぐと、ポンプの タイミングがずれ故障する可能性があり、修理には時間がかかります。また、吸引作業中でも冷却水が流 れていることを必ず確認してください。(冷却水ラインの凍結にもご注意ください。)

# 1-2. バルブ凍結割れのご注意

水抜き後、バルブの開度を、約「45°」にしてください。(全開、全閉でもバルブ割れの原因となります。)

1-3. 水ポンプ付の機種について 水ポンプ下部のピーコック(ドレンバルブ)より十分に水抜きを行ってください。 水抜き後、空運転を行い、水ポンプ内の水を完全に抜き、水ポンプを停止してください。

#### 1-4. プランジャーポンプ付の機種について

- ① 各ドレンバルブより十分に水抜きを行ってください。
- ② 洗浄ホース凍結防止のため、作業終了後ホースを取りはずすか、ホース内に不凍液を通してください。

## 2. 洗浄車

#### 2-1. プランジャーポンプ凍結のご注意

- 1) 一日の作業終了後、必ず各ドレンバルブを開け、水タンク、プランジャーポンプ、配管内の水抜きを行って ください。また、コンプレッサー等の設備がある場合は、プランジャーポンプヘッド部カプラよりエアを入れ、 ホース内の水抜きを行ってください。(詳細は、取扱説明書を参照願います。) 2) プランジャーポンプヘッドの水抜きを行ってください。(下記ポンプ型式参照)

J◇-◇◇W型 J◇-◇◇SA型 J◇-◇◇S型 J◇-◇◇SS型 ① ヴォーマ(WOMA) サカビ (SACAVI) スギノ スギノ(超高2段切換)

下記取扱上の注意事項を参照してください。

JŠ→ŠŠM型 ② マイヤー(MYER) ハイドロバイド(HYDROVIDE) I◇−◇◇H型

ヘッド下側のエア抜きバルブを開けた後、棒を下から差し込み、内部の吸い込みバルブを押し上げ、 水抜きを行ってください。

# 2-2. バルブ凍結割れのご注意

水抜き後、ドレンバルブ、プランジャーポンプのバルブは開度を、約「45°」にしてください。(全開、全閉でも バルブ割れの原因となります。)

#### 取扱上の注意事項

- ① 基本的にプランジャーポンプの空運転は行わないで下さい。ポンプ故障の原因となります。
- ② ポンプヘッド内の残水を抜く場合に限り、空運転を行って下さい。空運転は、エンジン回転をアイドリング状態、 吐出圧力は無圧の状態で行ってください。ただし、5秒間以上の空運転は絶対に行わないでください。

### 【お問い合わせ先】

中四国支店 東北•北海道支店 Tel:(022)248-2991 Tel: (082)426-2131 札幌営業所 Tel:(011)893-0861 四国営業所 Tel: (088)845-5511 Tel:(03)3667-7330 東東京支店,西東京支店 福岡支店 Tel: (092)761-7761 名古屋支店 Tel:(052)902-5538 技術サービス部 Tel: (088)845-5511 Tel:(072)653-1136 品質保証部 大阪支店 Tel: (088)864-1411